

それ
が
どのやうな
事か
あるか
、
今では
わかり
か
ね
る
。二
のやう
な
事
も

し
い
これと全體の意を我にはさしたる病気が多い。さへあるものもある。

こゝを挙げたところほかの外のとは、これに類するものがあるが、
このやうなものは、

後いふことありき。
 ことが知られた。

をあげてふし
なすは思ふ
なすは思ふ
なすは思ふ

二才にのやうな例があるとは小惑(一才)
 三として、これよりこと成か、身に作られた
 例の二とはある(例)を、おつたあり

我しは、
思想の上から見て、前漢時代の作家であることは、
直家

ふう
 手本やいふ
 の思想を金まわしてあるもの
 菊池哀命の大庭の所
 外傳卷五の閑暇
 礼記の礼運命の大庭

[illegible]

の三々之返など、
陰陽忠親公傳外傳の
下戴した四行の

五行思五
大戴礼记虞夏
帝之象
大戴礼记王帝
成命
台安

術に云ふもの
 左の表公の年
 の各姓にその
 漢書劉向傳に見る元

延平君の上表并附に引くある策討の世はつこの如きは量仲直言ひ
が更なるものなり。弟の藤原朝也
をたふさるゝものなり。

陳陽思也道

20 x 10
そのおし
作山

書店

波は思ふ
岩の下
あり。

...

1



うしろま

孔子世家

趙子

北平

が△

の聲